業務棚卸表（事後評価表）

A表

年度	平成17年度

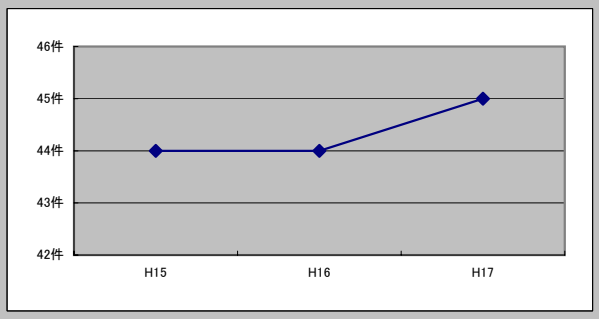
基本目的 ３　人権が尊重され、市民が主体となって取り組む協働社会になる
基本目的 ８　市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる
基本目的 ９　行政機能が高くなる
行動目標３－２　市民が主体でまちづくりが行われる
行動目標８－２　市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める　（所管課名　桜地区市民センター）
行動目標９－２　公正で効率的な行政運営を行う

任務目的	地域における市行政の窓口として、市民の利便性を高めるとともに、市民による地域活動を促進する。	達成度	☆☆☆

任務目的の成果・活動指標の推移

管内の地域社会づくり活動事業数

H14実績	－
H15実績	44件
H16実績	44件
H17実績	45件
H17目標	45件
H18見込	45件



窓口対応の満足度

H14実績	－
H15実績	89.2%
H16実績	90.0%
H17実績	93.0%
H17目標	93.0%
H18見込	94.0%

講座開催数

H14実績	－
H15実績	15回
H16実績	18回
H17実績	22回
H17目標	22回
H18見込	22回

指標の説明

地区市民センターの主要な業務である、地域社会づくり、窓口・相談、公民館における生涯学習講座の開催について、わかりやすい、代表的な指標として、管内の地域社会づくり活動事業数、窓口対応の満足度、講座開催数を掲げた。

○ 任務目的に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成17年度実績

○窓口業務については、窓口主任を中心に研修を重ねてきた結果、窓口職員だけではなくセンター職員全員で対応し、迅速丁寧な接遇に努めてきたので地域住民から好意を持って迎えられている。
○地域団体事務室を中心にした地域社会づくりを推進してきた。もともとの下地があったと思われるが、三つの連合自治会を主体に住民自らが自分たちのまちづくり（夏祭り、敬老会、文化祭など）に取り組み着実にその成果を上げてきた。住民に親しまれている矢合川の散策路整備、又、みどりの植栽事業は、守る会の地道な活動により徐々にではあるが広がりを見せている。
○公民館事業については、住民ニーズが高い講座（パソコン）を開設してきたがまだまだ、住民要望にこたえ切れておらず今後も引き続き事業展開をしていかなければと考えている。

平成18年度見通し

今年度も地域社会づくりについては、地域団体事務室を中心にした事業展開を進めていくべきであると考えている。地域課題である福祉・防災を中心にすえ、地域マネージャーをコーディネーターにし活動の充実を図っていきたい。公民館事業については、各団体が抱えている問題の解決を目指しながら、個人の能力開発にも取り組んで生きたい。先ずは老人クラブの充実に取り組んでいくが社会ニーズのある事業にも取り組みたい。窓口業務については、市民に頼りにされる職員を目指していくべきであり、ある程度は期待にこたえられると考えている。

これからの課題、施策等展開の方向性

地区市民センター構想により地域マネージャー制度が導入され2年目を迎えると共に、副館長が公民館事業を担当するのも2年目を迎える。職員が減少していく中で効率よく業務を遂行していかなければいけない。今後は、地域マネージャーの活用という観点から、又、地域課題である防災と福祉の充実に取り組むべく自治会をはじめとする地域各種団体と連携をとりながら事業展開をするべきであると考える。自治会活動を中心とする各種団体の充実を図るべきは、団体事務室の充実以外には考えられず、人的な面をはじめとしてソフト面に力を入れていきたい。